

「蚊の栄養？」

中米ホンジュラスに青年海外協力隊の「マラリア対策隊員」として派遣された時のことである。着任したばかりの私の最初の仕事は、近くの牧場で実験に用いるマラリア蚊（ハマダラ蚊）を吸虫管で毎晩150匹収集するというものだった。「栄養？砂糖水でもやるのだろうか？」といぶかる私の前で、同僚たちはシャツを脱ぎ始め、自分のお腹に、収集した蚊の入った籠を押し当ててはなにか。150匹の蚊のお腹が血を吸ってみるみる赤く膨らんでいく。と同時に、同僚たちのお腹に赤い隆起物が広がっていく。「郷に入れば郷に従え」と協力隊訓練所で教えられた私であったが、開発途上国の現場の厳しさを目の当たりにした瞬間だった。

中米・カリブは日本人にとつてはあまりなじみがなく、ましてやホンジュラスを知っている人は少ないであろう。人口800万人、これといった産業がなく中南米で最も貧しい国の一つ。しかし、ホンジュラスの人々は日本のことをよく知っている。日本製品の質の高さがその理由だが、長年にわたって日本が実施してきた国際協力も大いに貢献している。青年海外協力隊は1976年にこの国への派遣を開始し、累計で1155人（2015年3月）を送り込んでいる。中南米最大の派遣先である。

米国とキューバの国交正常化交渉を受けて、この地域への関心が高まっている。太平洋と大西洋をつなぐ要衝の地。米国の陰に隠れているが、さまざまな顔を持つ魅力的な小国の集まりだ。この地域と日本のつながりは、国際協力を通じて今後も深化していくだろう。同僚の血を吸った蚊の末えいは今もホンジュラスで飛んでいるだろうか？ 美しきハマダラ蚊と愛しき人々に思いを馳せる。

JICA 広報室長 田中雅彦

本誌へのご意見・ご感想や  
JICAへのご質問を  
お寄せください。

プレゼント  
付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切：2015年6月15日

Eメール：jica@idj.co.jp  
FAX：03-3221-5584（『mundi』編集部宛）

- ① メキシコのハーブせっけん
- ② 書籍『信じられない「原価」』（p37参照）
- ③ 書籍『世界のじゃがいも料理』（p37参照）



①



②

③

本誌をご希望の場合は  
下記方法で  
お申し込みください。

申込方法

本誌をご希望の方には、送料をご負担いただく形で送付いたします。巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送付期間・送付開始月を明記の上、指定の金額を郵便局でお支払いください。入金の確認後、発送手配をいたします（入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください）。複数冊、またはバックナンバーをご希望の方は送料が異なりますので、下記までお問い合わせください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 総務部(発送代行)  
住所 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-2-4 麹町HFビル9F  
TEL 03-3221-5583  
FAX 03-3221-5584  
Eメール order@idj.co.jp



次号予告 (2015年6月1日発行予定)

観光開発

夏休みは観光に最適なシーズン。日本でも新たに世界遺産として登録された観光地が話題となっています。しかし、観光客の増加がそのまま地元の繁栄につながるとは限りません。観光地として成功するために必要な地域の活性化や、ゴミの増加・渋滞などの課題解決に迫ります。

**mundi**

MAY 2015 No.20

編集・発行／独立行政法人 国際協力機構 Japan International Cooperation Agency : JICA

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル

TEL : 03-5226-9781 FAX : 03-5226-6396 URL : <http://www.jica.go.jp/>

バックナンバーはJICAホームページ (<http://www.jica.go.jp/publication/mundi/>) でご覧いただけます。

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。